

# ハローキャリアワーク通信



リコーブラックラムズ東京は、地域の活性化に向けて様々な取り組みを行っている「ラグビーチーム」です。チームミッションは、「Be a Movement.」として、「活力と感動を。社会に、そして未来に向かって。」と掲げています。今回、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で行われる「ホストゲーム」で感動を創り上げたいので、皆さんのアイディアを聞き、その考えを生かした

活動のサポートの依頼を受け、4月3日にオンラインにて、取り組み内容など事前の打ち合わせが行われました。その中で、事前の課題として、3点「この体験を通して、身に付けたいこと」「どのようなことについて知りたいか」



「お客さんと接するときに必要なこと」が提示されました。参加予定の子どもたちは、「選手の個性など紹介したい」「選手のユニホームやスパイクなど来場者に見せたり、触れさせたりできたらいい」などの考えを出しました。当日、その考えを生かしたサポートを楽しみにして、打ち合わせを終えました。

6日（土曜日）は、雨模様の天候でしたが、9時の集合

時刻には、曇り空の中で開始しました。始めにリコーブラックラムズ東京の大山様から、今日の活動の概要と新たに、赤堀様を紹介していただきました。その後、赤堀様から今日の具体的な活動についてのお話がありました。また、オンラインで行った際の事前課題について、一人一人から聞き取りが行われました。一人一人は「笑顔での対応」「選手の人柄を知りたい」「分かるように相手に伝える」など考えてきたことを発表していました。



その後、1つ目の活動として本日のゲストのための席づくりの手伝いをしました。競技場内のトラックに特設されたシート上に、折り畳みの椅子をケースから取り出し、見やすい配置に並べる作業です。緊張しながらも1つのスポーツイベント（ラグビーの試合の会場づくり）にいろいろな作業をして開催の準備をしていることを知るいい機会でした。次の準備の移動の際に、リコーブラックラムズ東京の選手がお出迎えをしていたので、そこにお邪魔して、簡単に触れ合う時間になりました。



ナンバー8の「ネイサン・ヒューズ選手」のサブユニホームを持ってきていただけだったので、ユニホームとともに写真も撮りました。次は、今日の試合に来られる「ゲスト」の対応をする受付の準備でした。受付をデコレーションして、配置もできました。そして、受け渡しには、3つの内容の作業がありました。今回は「記念品と食事券、案内図」の受け渡しです。受け取るゲストは「紙」でそのことを示すか、スマホに掲載された内容の提示で、人数分受け渡すのです。渡した数も記録します。準備ができたのが11時過ぎくらいでした。しかし、ゲスト



はすぐにこなかったため、少しの間待つ時間ができました。大山さんの配慮で、交代で、会場の他の様子の見学をすることになりました。他のブースでどのようなことが行われているかを見ることで、1つのゲームを成功させるために、様々な方が活動している様子を見ることができました。その後ゲストも見え、



延べ21名の方の分の受付ができました。また、途中には他のブースの受付と間違われてきた方の対応もあり、丁寧に説明を加えて案内をしている姿も見られました。

午後1時になり、活動時間の終了です。再度、控室に戻り大山様、赤堀様からお話をいただきました。その中で、1つの試合を成功させるためにこれだけの裏方のいる重要性や今後の生活にこの経験を生かしてほしいという思いも伝えられました。また、活動した感想も聞かれ、「楽しかった」と答えていました。その後、振り返りを行いました。その振り返りには、「お客さんに説明するときに、優しく丁寧に話せました。」「裏ではたくさんの方が試合を観に来る人のために働いていることが分かった」など、それぞれの思いが記してありました。

